

かめやま

令和6(2024).11.22

編集発行
亀山地区
社会福祉協議会

会長 大畠正彦 亀山二丁目 TEL 814-6449
事務局 山口定己 亀山九丁目 TEL 814-7342

亀山地区社会福祉協議会

広報誌130号発行に当たって 「今、地域は」

亀山地区社会福祉協議会

会長 大畠正彦

平素より亀山地区社会福祉協議会(亀山社協)の活動に対しまして、ご理解ご協力ご支援をいただきしております事を厚くお礼を申し上げます。

亀山社協広報誌「かめやま」が今回で発行130号となりました。昭和52年9月に第1号を発行し47年間続いてきた事は私の喜びです。この喜びは、亀山地域の諸団体のご協力と、様々な困難を克服して、今日の「住んで安心暮らして安全きずなのはまち かめやま」の福祉社会を築いてこられた先達の方々のおかげである事に感謝申し上げます、ありがとうございます。

私は、地域における福祉とは【そこに住んでいる人が、みんなを手助けして、みんなが幸せになる】この思いを持って行動することだと思います。

近年の、少子高齢化や人口減少が急速に進展する現実の中で、福祉のあり方が問われております。亀山社協としましては、次の3つの事を重点活動しております。

- ① 「日常高齢者の福祉活動(特に認知症)」
- ② 「少子化時代における子育て支援」
- ③ 「自然災害が発生した時の福祉活動」

この3つが地域福祉活動にとって重要と考えております。

先ずは「日常高齢者福祉活動」は、高齢化ともない、認知症患者の数は急増しており、65歳以上の高齢者の3人に1人が認知症の予備

群といわれ、認知症は誰にでも起こりうる身近な病気であるとされております。

亀山社協内では、地域のサロン活動・町内会等での認知症の講座・認知症カフェ等を開催し、亀山地域包括支援センター等の支援で予防活動を行っております。

2つ目の「少子化時代における子育て支援」は、地域全体で子育て支援して行くことです。先日の午後、この様な光景に出会いました。小学生低学年児童(未就学児)と思われる男の子がお父さんと手をつないで散歩している光景で、《お父さんは会心の笑み・子どもはスキップしながら100%の笑顔》。お父さん(パパ)も、子どもも、休みの日に手をつなぎ、お互いの手のぬくもりを感じ、親子の絆が深まっていると感じました。この親子の情景が学区内の喜びとして、パパが子育てに参加しやすい環境の1つとして、学区全体に子育て支援の輪として拡げたいと強く思いました。

もう1つの「自然災害が発生した時の福祉活動」は、住民が避難する・避難所での生活をする、自分、家族、地域を守る行動が大切ということです。亀山学区は広く地域性があります。この地域性においての、支援活動としての公助・自助・共助に加えて、ボランティア活動、住民組織活動の互助が社会福祉の活動として重要なとなります。日頃から災害を予測した、防災訓練を含めた福祉活動は非常に大切です。亀山社協としましても「亀山学区自主防災会」との連携した活動を学区内の諸団体及び行政関係機関との連携を密にする事で、住民に安心感を与えて行きたいと思います。引き続き一出来る事から小さな福祉を亀山の地から一を実践して行きたいと思っております。

これからも、亀山地区社協に、更なる、ご支援、ご協力をよろしくお願ひ致します。

白寿、米寿お喜び申し上げます

白寿7名、米寿69名。皆様にお祝いを贈りました。

(令和6年9月6日現在)



白寿

(大正14年生まれ)



上大毛寺	龟山6丁目	ヒコ	野
中大毛寺	龟山5丁目	定	本
中大毛寺	龟山5丁目	八重	川
船山	龟山5丁目	キ澄	宮
船山	龟山5丁目	ミツ	河
船山	龜山3丁目	房	岡
四日市			



米寿

(昭和11年生まれ)



雀	百	打	寒	藤	宇	大	河	山	櫻	山	正	垣	高	松	松	大	松	田	石	石	末	小	井	河	岡	保	古	山	井	橋	新	佐	原	早	中	石
野	井	川	田	江	田	田	崎	本	井	根	田	下	田	本	房	田	原	中	田	田	森	田	藤	村	部	田	川	下	口	本	宅	木	田	川	林	丸
ヶ	百	早	河	河	田	田	崎	本	井	根	田	下	田	本	房	田	原	中	田	田	森	田	藤	村	部	田	川	下	口	本	宅	木	田	川	林	丸
打	寒	寒	藤	宇	大	河	河	江	田	田	崎	本	本	井	井	井	河	河	田	田	田	田	藤	村	部	田	川	下	口	本	宅	木	田	川	林	丸
打	寒	寒	藤	宇	大	河	河	江	田	田	崎	本	本	井	井	井	河	河	田	田	田	田	藤	村	部	田	川	下	口	本	宅	木	田	川	林	丸

(敬称略 順不同)



自分たちのまちを みんなで守りたい! かめやまLMO事務局 新富友美

今年度四日市子ども会会長、又かめやままちづくり協議会（かめやまLMO）の事務員として亀山地区で沢山の方に出会わせていただきました。いろいろな方とお話ししていく中で様々な地域の課題があると感じています。その課題の一つに、地域活動・町内活動をする役員の高齢化や後継者育成者の担い手不足があります。後継者不足の為役員が固定化され、一部の役員の方の負担が大きく次に繋がる担い手がないのが現状です。ライフスタイルが多様化する現代社会では共働きの家庭も増え、価値観の多様化、地域住民の町内への関心が薄くなっているとも感じられます。若い世代にもっと地域に興味を持つてもらい参加してもらうためにはどうしたらいいのか？まずは地域での活動に目を向けてもらい知ることが大切です。子ども達のためにパトロールをして安全を守ってくださる方、災害時にいつでも地域の方々が避難できるように避難所に行って準備をしてくださる方、生活環境を整え道路の美化や除雪をしてくださる方など沢山の方が私たちの地域を支えてくれています。こういった町内での活動は、住みやすいまちづくりを作るためにとても必要だと私は思います。人は一人では生きていけません。支え、支えられ今の生活があると思います。とはいっても、忙しい働き世代の若い方々に地域活動・町内活動に参加してもらうのには負担を感じることもあると思います。時代に合った運営方法を考え変えていくことも必要だと感じます。現在活躍されている役員の方と、次を担う若い世代の方々でお互いに意見を言い合える場をつくり交流を図る機会を是非つくりたいです。

先日、四日市町内会では秋祭りを行い、大人神輿・子ども神輿の二基で町内を練り歩き神輿奉納を行いました。1つの行事に対しみんなで役割をもって協力しながら準備をし、そして当日を迎えました。一緒に汗を流しお酒を飲みかわし交流し、子ども達も普段交流の減っている

地域の方々と話をしながら笑いあっていました。今回子ども達の神輿を担ぐ姿を見て涙を流す高齢者の方もいらっしゃりこのような行事は改めていいなと心から感じました。四日市の神輿でまわっている際に、隣町の親子が私たちの神輿を見に来てくれていました。話を聞くと「自分の地区は担げる人が少なくて今年は神輿がないんです。」と教えてくれました。残念そうでしたが、四日市の神輿が見られてよかったですと喜んで帰られました。昔ながらの伝統行事がなくなるのはとてもさみしいことです。私は、これからも未来に繋げられるように様々な活動に積極的に参加をしていきます。そして、それを見ている子ども達が大きくなった時にまた自分の生まれ育った地域を大切に守っていってくれるように願っています。

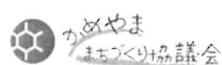
安心・安全なまちづくりをめざして

昨年11月より、亀山地区のみなさまと住民主体のまちづくりを進め地域の諸課題を協力して解決していくよう、かめやままちづくり協議会（かめやまLMO）を開設いたしました。フレステ可部店横のまちづくり四日市役場内に事務所を構え、

『住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま』をスローガンに掲げ活動しております。是非お近くに来られた際は、気軽に寄って頂き地域でのお悩みやご相談などお話をできると嬉しいです。お待ちしております。

【開所日：月～金 10時～15時】

かめやままちづくり協議会
かめやまLMO



住んで安全。　暮らして安心。

絆のまち　かめやま

731-0231 広島市安佐北区亀山3-14-20
電話・FAX : 082-815-8110
E-mail : office@kameyama-tp.jp
会長 大島正彦



亀山地区の情報などをホームページに載せています。QRコードを読み込み覗いてみてください♪

増えているもの、減っているもの

最近、テレビや新聞で特殊詐欺に関する報道が増えています。次に狙われるのは、ひょっとして「あなた」かもしれません。うっかり電話に出て「もしもし、はいはい」と答えてしまったその瞬間、あなたの大事な貯金が危険にさらされることに…。十分に用心しましょう！

自然災害も増加中です。地震や台風などがいつどこで発生するか予測できません。以前配布された避難場所や避難経路をもう一度確認し、家族やご近所さんとも再確認しておくのが良いでしょう。地震の備え、台風対策、そして避難グッズのチェックもお忘れなく！

そして、まさかの動物たちの出没も増加中。シカが街中に出没し、畑や庭が荒らされてしまうことも。最近はカメムシが大発生していて、稻作や果物への被害も深刻です。自然の力も手強い相手ですね。

一方で、減ってしまったものもいくつかあります。例えば、亀山地区社会福祉協議会のメンバーの体力と気力。年々、メンバーの平均年齢は上昇中（ほとんどが後期高齢者です）。若い力が今、まさに求められています！私たちが次に減ってしまうのは…元気なメンバーかもしれません、それを補ってくれるのが「あなた」です！

貯金通帳の残高も、カープの得点力も、どんどん減少中です。そして、庭に遊びに来るスズメやツバメ、コウモリの姿もすっかり少くなりました。彼らはいったいどこへ行ってしまったのでしょうか？自然の変化が私たちの暮らしに影響を与える中、人間の助け合いもあります大事になってきます。

2年後には、亀山地区社会福祉協議会は半世紀を迎えます。この節目の年を、若い「あなた」方の手で運営してみませんか？新しい風を吹き込むチャンスです！皆さんの参加を、心よりお待ちしています。

（Chat GPT いわゆるAIを使って書きました）

広報部 部長 平尾和宏

400ml献血にご協力を！



亀山学区献血推進協力会は10月19日（土）アルゾ可部店で実施しました。受付総数87名、採血者数70名。17名の方が比重不足など

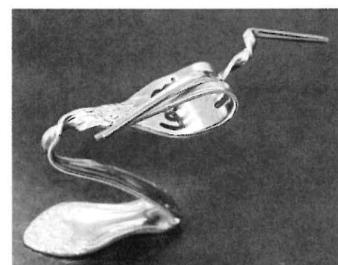
で採血できませんでした。採血合計は28,000mlです。

ふたり暮らしの集い

10月31日（木）亀山公民館 参加者54名

今回はマジックショーを開催。マジシャンの響 仁（ひびき じん）氏の華麗な手さばきを、驚きと笑いで堪能しました。沢山のマジックでしたが文章に起こせないほど不思議でした。一つだけ挙げると、参加者の女性にフォークを渡し名前を書いてもらい、それを響氏が預かり、両手の中でかるくモミモミし息を吹きかけ、先の女性に渡すと固いフォークが折り鶴になっていました。もちろん女性の名前もありました。隣の男性に渡し、触っておられましたが固いのでビックリされていました。

午後からは懇親会、お弁当を食べながらビンゴゲームを楽しみました。



（折り鶴になったフォーク）

事業報告

令和6年6月1日

～9月30日

◇いきいきサロン交流会と助成金配布

学区内9サロン責任者と亀山包括との交流会と助成金配布
=6月13日（木）

◇各自治会町内会の敬老会へ感謝状、お祝い金配布事業実施

白寿7名、米寿69名の方に、お祝いの言葉とお祝い金を贈呈。寝たきり高齢者8名の方に、お見舞いの言葉とお見舞金を贈呈。
=9月6日（金）～16日（月）

地域福祉事業にご寄付

亀山社協に令和6年6月1日から9月30日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。

謹んでお礼申し上げます。

◎香典返し

下行森 岡本美恵 様（父・賢夫 様）